

モ再審ノ訴ハ幾回ニテモ之ヲ爲スヲ得ルカ故ニ若シ死刑ノ場合ニ確定判決ノ執行ヲ停止スルモノトセハ到底其執行ヲ爲ス能サルニ至ルヲ以テ此場合ニモ執行ヲ停止スルコトナシト云ハサル可ラス又再審ノ訴カ起ルモ移審ノ效力ヲ生セス是レ再審ノ訴ト上訴ト異ナル所ナリ

#### 第四節 再審ノ訴ノ手續

第一 受刑人及其親屬ヨリ再審ノ訴ヲ爲サントスルトキハ趣旨書ニ原判決ノ謄本及ヒ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ原裁判所ニ差出ス此手續ニ依リ受刑人ハ再ヒ被告人ノ地位ヲ復活シ再審ノ訴ハ成立スルモノナリ原裁判所トハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ヲ云フ而シテ原裁判所ノ檢事ハ其書類ニ意見書ヲ添ヘ上告裁判所ノ檢事ニ差出ス又第一審裁判所ノ檢事若クハ控訴裁判所ノ檢事ヨリ此訴ヲ爲ストキニ於テモ趣旨書ニ原判決ノ謄本證憑書類ヲ添ヘ上告裁判所ノ檢事ニ差出スヘキモノトス上告裁判所ノ檢事ハ右就レノ場合ニ於テモ其書類ヲ上告裁判所ニ差出シ審理ヲ求メサル可ラス上告裁判所ノ檢事自ラ再審ノ訴ヲ爲シタルトキモ亦同一ナリ(第三〇四條)

上告裁判所ニ於テハ受命檢事一名ヲシテ書類ニ依リテ其取調ヲ爲シ報告ヲ爲サシム(三〇五條)受命判事ノ取調終リタル後上告裁判所ハ受命判事ノ報告及ヒ檢事ノ意見ヲ聽キ書類ニ基キ判決ヲ爲ス(三〇六條)依テ再審ノ訴ノ手續ハ上告ノ審理ノ如ク書面審理ト云フヘシ只口頭辯論ノ行ハル、範圍ハ檢事ノ意見ヲ聽ク點ニ限ラル、モノニシテ被告人ハ辯護士ヲ差出シ辯護ヲ爲サシムルコトヲ得ス

#### 第二 上告裁判所ニ於ケル再審ノ訴ニ關スル判決ハ即チ左ノ如シ

- 一 棄却ノ判決再審ノ條件ヲ備ヘス又ハ再審ノ原因ナキトキ又ハ再審ノ訴ヲ爲スヲ得サル者ヨリ起シタル訴ハ之ヲ棄却セサル可ラス其他受刑人ノ親屬ヨリ輕キ刑ニ該ルヘキモノトシテ再審ノ訴ヲ爲シタルトキモ亦同一ナリ而シテ再審ノ訴ヲナシトシテ棄却セラレタル時ハ更ニ他ノ原因ニ基キ又ハ他ノ證據ヲ具ヘ再審ノ訴ヲ爲スコト得ヘク又不適法ナリトシテ棄却セラレタルトキハ更ニ權利者ヨリ條件ヲ備ヘテ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得ヘシ
- 二 破毀ノ判決訴カ適法ニシテ且再審ノ原由アリト認メタルトキハ原判決ヲ破

毀シ公訴私訴ニ付キ再審ヲ爲スヘキコトヲ言渡シ其事件ヲ原裁判所ト同等ナル他ノ裁判所ニ移ス(三〇七條)刑ヲ言渡タル判決ヲ破毀スルハ其確定力ヲ消滅セシムルカ爲ナリ又私訴ニ對シテハ單獨ニ再審ヲ許サルモ公訴ニ付キ再審ノ訴アリタルトキハ私訴ニ付テモ再審ノ訴ヲ爲スヲ得ヘク其訴カ理由アルトキハ同時ニ公私訴ノ判決ヲ破毀シ再審ヲ爲サシムルモノトス但同一審級ニ於テ公私訴ノ判決共ニ確定シタルトキニ非サレハ適用ナシト信ス

移送ヲ受ケタル裁判所ニ於テハ通常ノ規定ニ從ヒ再審ノ裁判ヲ爲ス而シテ再審ノ裁判ニ於テハ更ニ他ノ證據ニ基キ被告人ヲ有罪ト認定スルコトヲ得ルモ確定判決ニ認メタル刑ヨリ重ク罰スルヲ得スト爲スハ今日ノ通説ニシテ且判例ノ認ムル所ナリ此說ハ三〇一條ニ於テ再審ノ訴ハ被告人ノ利益ノ爲メ之ヲ爲スコトヲ得トアルニ基クモノナリ然レトモ被告人ノ利益ノ爲ニ非ス云々トアルハ刑ヲ言渡タル判決ニ限り再審ノ訴ヲ許スノ趣意ニシテ獨澳ニ於ケルカ如ク無罪ノ判決ニ對シ被告人ノ不利益ノ爲メニ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ禁スルノ意ニ外ナラス第三〇七條ニ於テハ通常ノ規定ニ從ヒ裁判ヲ爲ストアリテ且

控訴上告ニ於ケルカ如ク不利益變更ノ制限ナキ以上ハ再審ノ裁判ニ於テ確定判決ヨリ重キ刑ヲ言渡スモ妨ナシト信ス

死者ノ親屬ヨリ再審ノ訴ヲ爲シタル場合ニ再審ノ理由アリト認メタルトキハ其事件ヲ他ノ裁判所ニ移スヲナク原判決ヲ破毀ス(三〇八條)此場合ニ判決ヲ破毀スルニ止ムルハ死者ニ對シ通常規定ニ從テ審理裁判ヲ爲ス能ハサルカ故ナリ而シテ破毀ニ止ムルハ被告人ノ無罪タルヲ表示スルモノナレハ無罪タルノ事實確定スルニ非サレハ此判決ヲ爲スヲ得サルナリ又受刑人ヨリ再審ノ訴ヲ爲シ其判決前ニ死去シタル場合ニモ死者ノ親屬ハ其訴ヲ承繼スヘク從テ第三〇八條ノ適用ヲ受クヘキモノトス若シ死者ニ親屬ナケレハ受刑人ノ爲シタル再審訴ハ當然消滅スルモノナリ移送ヲ受ケタル裁判所ニ於ケル再審ノ判決ニ因リ無罪ノ言渡アリタルトキ又ハ三〇八條ノ場合ニ於テ上告裁判所ニ於テ破毀ヲ言渡タルトキハ其者ノ名譽ヲ復スル爲メ其判決ヲ揭示ス(三〇九條)

### 第十一編 裁判ノ執行

#### 第一章 刑ノ執行

第一 古今ノ立法ヲ見ルニ刑ヲ言渡シタル判決ヲ執行スルノ權ハ之ヲ刑事ノ裁判權ノ内ニ含マシムル者ナリ又之ヲ含マシメサルモノアリ舊獨乙法ノ觀念ハ執行權ヲ裁判權ノ内容ノ一ツトシ又近代ニ於テハ千八百五十三年ノ澳國治罪法ニ於テモ此觀念ヲ採用シタリ之ニ反シ佛國治罪法ハ三權分立ノ主義ニ基キ裁判ノ執行ハ裁判所ヲシテ爲サシメス之ヲ他ノ執行機關ニ任セリ此佛國ノ制度ハ一方ニ於テハ判事ヲシテ裁判以外ノ俗務ニ服セシムルコトナキカ故ニ裁判所ニ公平ナル裁判ヲ爲スノ地位ヲ保タシムルノ利アリ又一方ニ於テハ檢事ヲシテ刑ノ執行ヲ指揮セシムル時ニハ其執行ハ敏速ナルノ便アリトス故ニ我刑訴法ニ於テモ裁判ノ執行ハ之ヲ司法行政ノ處分トナシ裁判執行ノ指揮監督スルハ之ヲ檢事ノ職務ニ屬セシメタリ(刑訴三二〇)構成法六條刑法附則一條監獄則四條)

裁判執行ノ指揮監督ヲ爲ス檢事ハ其刑ヲ言渡タル裁判所ノ檢事又ハ上告裁判所ヨリ命ヲ受ケタル裁判所ノ檢事ナリ(三二〇)ノ一項刑ヲ言渡タル裁判所トハ之ヲ文字通り解釋セサル可ラス故ニ第一審ニ於テ刑ヲ言渡シ其控訴上告棄却セラレタルトキハ第一審裁判所ナリ又刑訴審ニ於テ第一審判決ヲ取消シ刑ヲ言渡シ其

上告棄却セラレタルトキハ控訴裁判所ナリ然レトモ第一審ニ於テ刑ヲ言渡タル判決ニ對シ控訴アリ第二審ニ於テ控訴棄却ノ判決アルモ拘留ヲ受ケタル被告人ハ刑訴第二五六條二項ニ依リ控訴裁判所ノ所在地ノ監獄ニ在ルヲ以テ便宜ノ爲メ構成法第八三條一項ニ依リ第二審ノ檢事ニ於テ第一審裁判所ノ檢事ニ代リ執行ノ指揮ヲ爲スヲ今日ノ實際トス又上告裁判所ニ於テ刑ノ言渡ヲ爲シタルトキハ被告人ハ下級裁判所所在地ノ監獄ニ在ルヲ以テ上告裁判所ノ檢事ハ執行ノ指揮ヲ第二審又ハ第一審ノ檢事ニ命シ其命ヲ受ケタル檢事ニ於テ執行ノ指揮ヲ爲スヘキモノト規定セリ

以上ノ如ク檢事ハ刑ノ執行指揮監視ヲ爲スニ止リ執行ノ實行ヲ爲スモノハ行政廳ニ在リトス

第二 裁判執行ノ條件タルモノハ裁判ノ確定ナリ裁判確定スレハ直チニ之ヲ執行スルヲ原則トス(三一七三)九ノ一項我刑訴法ハ刑ノ執行ノミニ付テ其規定ヲ設ケ無罪免訴公訴不受理ノ判決ニ對スル執行ノ規定ヲ設ケス是レ拘留ヲ受ケサル被告人ニ對シ是等ノ判決確定スルモ執行ヲ爲スヘキ事項ナキヲ以テナリ然レ

トモ被告人勾留ヲ受タルトキハ右判決カ確定スル結果トシテ被告人放免ノ執行ヲ爲サ、ル可カス此放免ノ執行モ亦無罪免訴公訴不受理ノ判決カ確定シタル後直チニ之ヲ爲スヘキモノトス又證人鑑定人通事ニ對スル罰金ノ決定ニ付テモ法律ハ執行ノ規定ヲ爲サ、レトモ判決ノ執行ト同一ノ執行ニ出ルノ外ナキナリ刑ノ執行ハ確定後直チニ之ヲ爲スヲ原則トスルト雖モ次ノ例外アリ

一 死刑ノ執行ハ判決確定後直チニ之ヲ爲スヲ得ス(第三一八條)又懷胎ノ婦女ニ對シ死刑ヲ執行スルニハ分娩後一百日ノ猶豫ヲ置サル可ラス(刑法一五條)立法上ヨリ觀察スレハ死刑及自刑ニ於テハ被告人懷胎ノ場合ノ外精神病其地ノ疾病ニ罹リタル場合ニハ刑ノ執行ヲ猶豫スルヲ至當トス此場合ニ於テ刑ヲ執行スルモ刑ノ目的ヲ達シ得ヘキモノニ非サルナリ

二 罰金科料ノ執行ニハ多少ノ日時ノ猶豫アリ(刑法二七三〇條)是レ此刑ノ性質ヨリシテ然ラサルヲサルモノトス  
右ノ例外ヲ除ク外ハ執行ヲ停止スル場合ナシトス故ニ自由刑ノ確定判決ヲ受タル者ニ對シ豫審判事カ他罪ニ付キ勾留狀ヲ發スルモ刑ノ執行ノ障害トナルコト

ナシ蓋シ勾留ハ豫審手續ニ附從スルモノニシテ獨立ノモノニ非ス豫審ヲ爲スニ當リテハ必ス勾留ヲ爲サル可ラサルモノニ非ス此ノ如ク附從ノ性質ヲ有スルモノ、爲メニ獨立ナル刑ノ執行ヲ妨ケラル、コトナキハ當然ナリトス  
刑ノ執行ハ之ヲ嚴格ニ爲スヘキモノナルカ故ニ自由刑及ヒ罰金刑ノ執行ハ之ヲ分割シテ執行スルヲ得ス故ニ刑ノ執行ニ中斷中止ナルモノナシ  
私訴判決ノ執行ハ民事訴訟法ニ從フ(三二三條)

### 第二章 死刑ノ執行

死刑ハ刑法第十三條ニ依リ司法大臣ノ命令アルニ非サレハ之ヲ執行スルヲ得ス依テ刑法第三百十八條ニ於テ死刑ノ言渡確定シタルトキハ檢事ヨリ速ニ訴訟記録ヲ司法大臣ニ差出スヘキコトヲ規定セリ斯ク司法大臣ノ命令ヲ待ツヘキ所以ハ司法大臣カ特赦ヲ奏請シ又ハ上告裁判所ノ檢事ヲシテ非常上告再審ノ訴ヲ爲サシムル權ヲ有スルカ爲メニシテ司法大臣カ死刑ヲ言渡タル判決ヲ認可スルモノニ非サルナリ而シテ司法大臣ヨリ命令アリタルトキハ三日内ニ其執行ヲ爲スヘキモノトス

トモ被告人勾留ヲ受タルトキハ右判決カ確定スル結果トシテ被告人放免ノ執行ヲ爲サ、ル可カス此放免ノ執行モ亦無罪免訴公訴不受理ノ判決カ確定シタル後直チニ之ヲ爲スヘキモノトス又證人鑑定人通事ニ對スル罰金ノ決定ニ付テモ法律ハ執行ノ規定ヲ爲サ、レトモ判決ノ執行ト同一ノ執行ニ出ルノ外ナキナリ刑ノ執行ハ確定後直チニ之ヲ爲スヲ原則トスルト雖モ次ノ例外アリ

一 死刑ノ執行ハ判決確定後直チニ之ヲ爲スヲ得ス(第三一八條)又懷胎ノ婦女ニ對シ死刑ヲ執行スルニハ分娩後一百日ノ猶豫ヲ置サル可ラス(刑法一五條)立法上ヨリ觀察スレハ死刑及自刑ニ於テハ被告人懷胎ノ場合ノ外神病其地ノ疾病ニ罹リタル場合ニハ刑ノ執行ヲ猶豫スルヲ至當トス此場合ニ於テ刑ヲ執行スルモ刑ノ目的ヲ達シ得ヘキモノニ非サルナリ

二 罰金科料ノ執行ニハ多少ノ日時ノ猶豫アリ(刑法二七三〇條)是レ此刑ノ性質ヨリシテ然ラサルヲサルモノトス

右ノ例外ヲ除ク外ハ執行ヲ停止スル場合ナシトス故ニ自由刑ノ確定判決ヲ受タル者ニ對シ豫審判事カ他罪ニ付キ勾留狀ヲ發スルモ刑ノ執行ノ障害トナルコト

ナシ蓋シ勾留ハ豫審手續ニ附從スルモノニシテ獨立ノモノニ非ス豫審ヲ爲スニ當リテハ必ス勾留ヲ爲サル可ラサルモノニ非ス此ノ如ク附從ノ性質ヲ有スルモノ、爲メニ獨立ナル刑ノ執行ヲ妨ケラル、コトナキハ當然ナリトス

刑ノ執行ハ之ヲ嚴格ニ爲スヘキモノナルカ故ニ自由刑及ヒ罰金刑ノ執行ハ之ヲ分割シテ執行スルヲ得ス故ニ刑ノ執行ニ中斷中止ナルモノナシ

私訴判決ノ執行ハ民事訴訟法ニ從フ(三二三條)

第二章 死刑ノ執行

死刑ハ刑法第十三條ニ依リ司法大臣ノ命令アルニ非サレハ之ヲ執行スルヲ得ス依テ刑訴法第三百十八條ニ於テ死刑ノ言渡確定シタルトキハ檢事ヨリ速ニ訴訟記録ヲ司法大臣ニ差出スヘキコトヲ規定セリ斯ク司法大臣ノ命令ヲ待ツヘキ所以ハ司法大臣カ特赦ヲ奏請シ又ハ上告裁判所ノ檢事ヲシテ非常上告再審ノ訴ヲ爲サシムル權ヲ有スルカ爲メニシテ司法大臣カ死刑ヲ言渡タル判決ヲ認可スルモノニ非サルナリ而シテ司法大臣ヨリ命令アリタルトキハ三日内ニ其執行ヲ爲スヘキモノトス

死刑ノ宣告ヲ受ケタル婦女懐胎ナル時ハ司法大臣ノ命令アルモ三日内ニ執行スルコトヲ得ス此場合ニハ検事ヨリ司法大臣ニ其旨ヲ上申シ其執行ヲ停メ産後一百日ヲ經テ更ニ司法大臣ノ命令ヲ受ケ執行スルモノトス刑法第十五條法附則第五條又三日内ト雖トモ大祀令節國祭ノ日ハ死刑ヲ行フコトヲ得ス(刑法第十四條全附則第四條)

死刑ノ執行ニハ検事書記之ニ立會ヒ書記ハ其始末書ヲ作り立會官吏ト共ニ署名捺印ス(刑訴三二一刑訴法附則第一條乃至第三條)

### 第三章 自由刑及財産刑ノ執行

自由刑ハ拘留ヨリ無期徒刑ニ至ルノ刑ニシテ財産刑ハ主刑罰金附加罰金科料沒收ナリ

自由刑ノ執行ハ検事ノ指揮アリタル後ハ行政官ノ處分ニ屬シ監獄則ニ依リ之ヲ執行スルモノナリ而シテ死刑及自由刑ノ執行ヲ逃レタル者ニ對シテハ検事ハ逮捕狀ヲ發スルヲ得(三一九ノ二項)此逮捕狀ハ罰金科料ノ刑ニ處セラレタル者ニ對シ刑法三七三〇條ニヨリ輕禁錮又ハ拘留ニ換刑スル命令アリ之ヲ遁レタル時ニモ

亦之ヲ發スルヲ得ヘシ蓋シ換刑ハ刑ノ執行方法ナリト雖トモ既ニ之ヲ禁錮ニ換ヘレハ禁錮ノ執行ヲ遁レタル者ト云フヲ得ヘケレハナリ

罰金ハ裁判確定ノ日ヨリ一月内ニ納完セシメ科料ハ十日内ニ納完セシム(刑法二七三〇、四二)是レ其期間内其執行ヲ猶豫セシムルモノナリ若シ之ヲ期間内ニ納完セサルトキハ換刑處分ヲ檢事ヨリ請求セサル可カラス

罰金科料訴訟費用沒收物件追徴金ハ檢事ノ命令ニ依リ徵集シ破毀又ハ廢棄スヘキ沒收物件ハ檢事之ヲ處分ス(三二〇條二項三項)而シテ罰金科料ハ期間内ニ納完セサルハ檢事ハ換刑處分ヲ請求スルノ外ナク民事訴訟法ニ從ヒ強制執行ヲ爲ス可能ハサルモ檢事ノ命令ニ從ヒ訴訟費用追徴金ヲ納メサレハ檢事ヨリ其徵收ヲ執達吏ニ命シ民事訴訟法ノ強制執行ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ執行セシムルノ外ナキナリ刑事訴訟法ハ之ニ關スル規定ヲ設ケサルモ其強制執行ヲ許サ、ルノ意ニ非サルナリ

剝奪公權停止公權ノ執行ハ當然執行セラレ、モノニシテ監視ハ刑法附則第二十一條以下ノ規定ニ依リ之ヲ執行ス

## 第四章 執行ニ對スル疑義及異議ノ申立

刑訴法ハ刑ノ執行中疑義又ハ異議ヲ生シタルルハ之ヲ執行府ノ判斷ニ任セス裁判所ニ於テ之ヲ裁判スルコト、セリ即チ刑訴第三百二十二條ニ依レハ刑ノ言渡ヲ受タル者ハ其言渡ニ付キ疑義ノ申立又ハ其執行ニ付キ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘク而シテ其裁判ハ刑ノ言渡ヲ爲タル裁判所ニ於テ決定スルコト、セリ裁判所ハ此場合ニ執行官府又ハ司法行政府ノ資格ヲ以テ決定ヲ爲スニ非ス其裁判ハ均シク裁判權ノ作用ニ出ルモノナリ故ニ刑ノ言渡ヲ爲タル裁判所ハ法律ニノミ服従スル官府トシテ此決定ヲ爲シ此決定ニ對シテハ上級裁判所ニ抗告ヲ爲スヲ得ルモノトス

執行異議ノ申立ハ檢事ノ刑ノ執行ニ關スル指揮ニ對シ異議ヲ唱フルモノナルハ受刑人ヨリ之ヲ申立ルヲ得ルノミニシテ檢事ヨリ之ヲ申立ルヲ得ス又疑義ノ申立ハ判決主文ノ不明ヲ明ニスルモノナレハ檢事ヨリモ亦之レヲ申立ルヲ得ルカ如シト雖モ第三百二十二條ノ法文ニ於テ明ニ刑ノ言渡ヲ受タル者ハ云々ト制限シタルヲ以テ檢事ヨリ之ヲ申立ルヲ得ス依テ檢事ハ判決主文ニ不明ノ廉アルモ自

ラ之ヲ解釋シ其意見ニ從テ之ヲ執行セサル可ラス而シテ檢事ニ於テ其意見ニ從テ之ヲ執行シ始テ受刑人ハ執行ノ異議ヲ申立ルヲ得ルニ至ルモノトス又疑義異議ノ申立ニ關スル決定ニ對シ抗行ヲ爲スコトヲ得ル者ハ受刑人ノミニシテ檢事ハ此決定ニ對シ抗行ヲ爲スヲ得ス是レ今日判例ノ定ムル所ニシテ又第三百二十二條ノ規定ヨリスルモ斯ク解釋スルヲ正當トス

執行疑義ノ申立ハ判決主文ノ解釋又ハ刑期ノ計算ニ付キ疑ヲ生シタルトキニ之ヲ爲スヘキモノニシテ判決ノ理由ニ疑アルモ此申立ヲ爲スヲ得ス蓋シ既ニ判決カ確定シ刑ヲ執行スルニ至レハ判決理由ノ不備ハ亦何等ノ效果ヲモ生セサルモノニシテ之ニ反シテ判決主文カ不明ナレハ其刑ハ執行スル能ハサルモノナレハナリ又異議ノ申立ハ刑ノ執行カ許ス可ラサルニ拘ラス之ヲ執行シタル場合及ヒ執行ノ方法ニ付キ不服アル場合ニ之ヲ爲スヘキモノナリ例ハ既ニ期滿免除ヲ得タレハ刑ヲ執行ス可ラスト主張シ又ハ未決勾留ヲ刑期ニ算入セスシテ執行スルハ不當ナリト主張スルカ如シ而シテ其刑ハ何人カ之ヲ執行スルヤヲ問ハス疑義異議ノ申立ヲ爲スヲ得ヘシ故ニ警察官カ執行スル監視ノ執行ニ付テモ亦此申立ヲ

爲スヲ得ヘク裁判所ハ之ヲ裁判セサル可ラス或ハ疑義異議ノ申立ハ司法行政ノ  
官府カ執行スル刑ニ非サレハ之ヲ爲スヲ得スト爲ス學說アレトモ法文ニ之カ區  
別ヲ設ケサルカ故ニ何人カ刑ヲ執行スルヤハ第三百二十二條ヲ適用スル標準タ  
ルモノニ非シテ只刑カ通常裁判所ノ判決ニ依テ言渡タルコトカ本條適用ノ標  
目タルモノトス

疑義異議ノ申立ヲ受タル裁判所ハ判決主文ヲ解釋シテ其裁判ヲ爲スニ止マリ新  
ニ刑ヲ言渡スコトヲ得ル權利ヲ有スルモノニ非ス故ニ判決主文ニ於テ刑期ヲ定  
メサルカ如キ場合ニハ其刑期ヲ決定ヲ以テ定ムル能ハスシテ執行スヘキ刑ナキ  
コトヲ言渡サル可カラス

疑義異議ノ申立ニ對スル裁判ハ決定ヲ以テスルカ故ニ書面審理ヲ以テス而シテ  
此申立アルモ刑ノ執行ヲ繼續スルノ妨トナラス申立ニ對スル決定カ確定シテ始  
メテ刑ノ執行ニ變動アルモノトス

### 第五章 刑ノ執行ノ消滅原因

刑ノ執行ハ受刑人ノ死去期滿免除執行ノ終了大赦特赦減刑又ハ復權等ニ依テ消

滅ス而シテ刑訴法第三百二十四條以下ハ復權及特赦ノ手續ヲ規定ス刑訴法ハ特ニ  
減刑ノ手續ヲ規定セサルモ減刑ハ特赦ノ一種ト看做シ特赦ノ手續ヲ之ニ準用ス  
ルモノトナシタルモノナラン

復權特赦減刑ハ何レモ天皇ノ大權ニ屬ス憲法第十六條故ニ司法大臣ヨリ上奏シ  
テ裁可ヲ受クヘキモノトス而シテ復權ハ刑法第六十三條ニ規定シタル條件ヲ具  
備シタル後受刑人ヨリ刑訴法第三百二十五條ノ證憑書類ヲ添ヘ司法大臣ニ願出  
ルヲ要シ特赦及減刑ハ刑ノ言渡ヲ爲シタル檢事又ハ監獄署長ヨリ刑ノ言渡確定  
シタル後何時ニテモ司法大臣ニ申立ルコトヲ要ス又司法大臣ハ檢事又ハ監獄署  
長ノ申立ヲ待タズ特赦減刑ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ其他ノ事項ハ法文ニ就テ  
之ヲ知ルヘシ

### 刑事訴訟法原論 畢



明治三十三年十月十一日印刷  
明治三十三年十月十四日發行

定價金貳圓

著作者 東京市牛込區若宮町十一番地  
豐島直道

發行者 東京市神田區今川小路壹丁目四番地  
明治圖書出版株式會社代表者  
森惣之祐

印刷者 東京市神田區表神保町二番地  
藤澤外吉

印刷所 東京市神田區仲猿樂町四番地  
日本印刷株式會社

發行所

東京市神田區今川小路

明治圖書出版株式會社

大

東京市神田區一ツ橋通町

有

斐

館

賣

東京市神田區裏神保町

濟

美

館

捌

東京市神田區裏神保町

明

法

堂

所

東京市神田區表神保町

修

學

堂

書

種頭  
判例  
用  
補入

# 民法

紙版  
定價金 四拾拾圓

右ノ書前狀ノ所ニ性質ヲ記入シ法文ノ龍頭ニ其法條ノ旨要ヲ摘載シ判決發  
布後ニ於テ大審院ノ判決例ヲ法條ノ傍ニ補入シ且適用又ハ準用ノ法  
文各其要旨ヲ補入シテ翻譯ノ不便ヲ去リシニ印刷ノ上部ニ充分ノ餘白ヲ  
存シ書人ニ自由ヲラシメタルモノナリ

發行所

明治圖書出版株式會社

神田區本町小崎町丁目四番地

大

東京市神田區一ツ橋通町

有

斐

館

賣

東京市神田區裏神保町

濟

美

館

捌

東京市神田區裏神保町

明

法

堂

所

東京市神田區表神保町

修

學

堂

書入用

龍頭摘要  
判例參照  
準用  
法文 挿入

# 民法

紙數菊版二百三十頁  
定價金 四拾錢

右ハ章節款ノ所ニ性質ヲ記入シ法文ノ龍頭ニ其法條ノ旨要ヲ 摘載シ新法發  
布後ニ於ケル大審院ノ判決例ヲ法條ノ傍ニ挿入シ且適用又ハ準用スヘキ法  
文ハ各其要旨ヲ挿入シテ 翻譯ノ不便ナカラシメ印刷ハ上部ニ充分ノ餘白ヲ  
存シ書入ニ自由ナラシメタルモノナレハ民法ヲ研究セントスルノ士ニ遺憾  
ナカラシメクルモノナリ

神田區今川小路壹丁目四番地

發行所

明治圖書出版株式會社

會頭子爵松平直敬君 講師警察監獄學校教授講師及博士學士三十二名

### 大に斯道有爲の諸士に告ぐ

**本會講義録の課程は如何** 本會講義録は主として警察監獄學校

の學科を基礎とし尚ほ必要ある課目を増加し且つ斯道に關係ある直接間

**講義の方法は如何** 講義は能ふ文筆を平易にし説を簡明にし而も

用意周到會て斯學の觀念なきものにも讀下一遍了解するを得せしむ

**講義録適用の範圍は如何** 本會講義録は實務家の指針たるは勿

論左の各項の諸君に必要欠くべからざるの良師友なり

一警察監獄學校生徒及同校生徒たりる諸君の參考

一將來同校生徒たり若くは警官獄吏たらんことを諸君の豫習

一行政司法の官吏たり又は自治機關の公吏たる諸君の準備

**講義録の特色** 學説の嶄新にして論議の正確なる在り説述の周密に

して思想の貫通なるに在り彼の陳腐にして斷絶せる雜誌的の觀念又は徒

らに高尚に馳せて實際に疎き法理等は斯界の改善に何程の効果ある本會  
は飽迄此に意を注ぎ以て圓滿なる智識を紹介し實務を幫けんことを期す  
●現今政府に於て學校を設立せられ獨逸教師を備聘せられ新たに各地に警  
視を置かれ或は監獄費を國庫に移され又は諸般の法令を着々として改正  
せらるゝ等其の改善の設備急あると共に各自の學修亦た急あるや重ね  
て言ふの要なし只た天高く氣澄める今の時燈下の益友たらしめられんこ  
と邦家の爲め切望に堪へず若し其の價値の如何は請ふ号を遂て實驗  
せられよ

明治三十三年九月

### 警察監獄學會

東京市四谷區荒木町二七

毎月二回發行

會費一ヶ月 金參拾錢

### 意注

紙數百頁以上十八ヶ月にして講了

入會料金貳拾錢(當分半額)  
會則入用の者は貳錢切手送付あれ

警 五日 二十日  
監 十日 廿五日

行政裁判所評定官 法學博士 山脇立先生著

# 學理實用 府縣制郡制論 全一冊

菊版背革美製紙數四百八十頁正價金壹圓五拾錢小包料十里迄五錢百里迄八錢百里以外十六錢

## 特色

多年編纂ニ在リテ地方制度ノ學理ト運用ヲ專攻シ其蘊奧ヲ究メ久シク法制局及行政裁判所ニ於テ幾千萬實務ノ經驗ニ富ミタリ

## 學理

內外幾多ノ學說原則例外區別差異等ニ付テ詳論逐條最モ明確ニシテ最精密ナル解釋ヲ加ヘ以テ本制ノ精神ヲ闡明シタリ

## 實用

各條ノ下ニ關係法規及幾多ノ判決ヲ掲出シテ實際ニ生ジタル疑問ノ解釋ヲ示シ其他凡テ實用ニ適合セシモノコトヲ期シタリ

東京市神田區今川小路

發行所

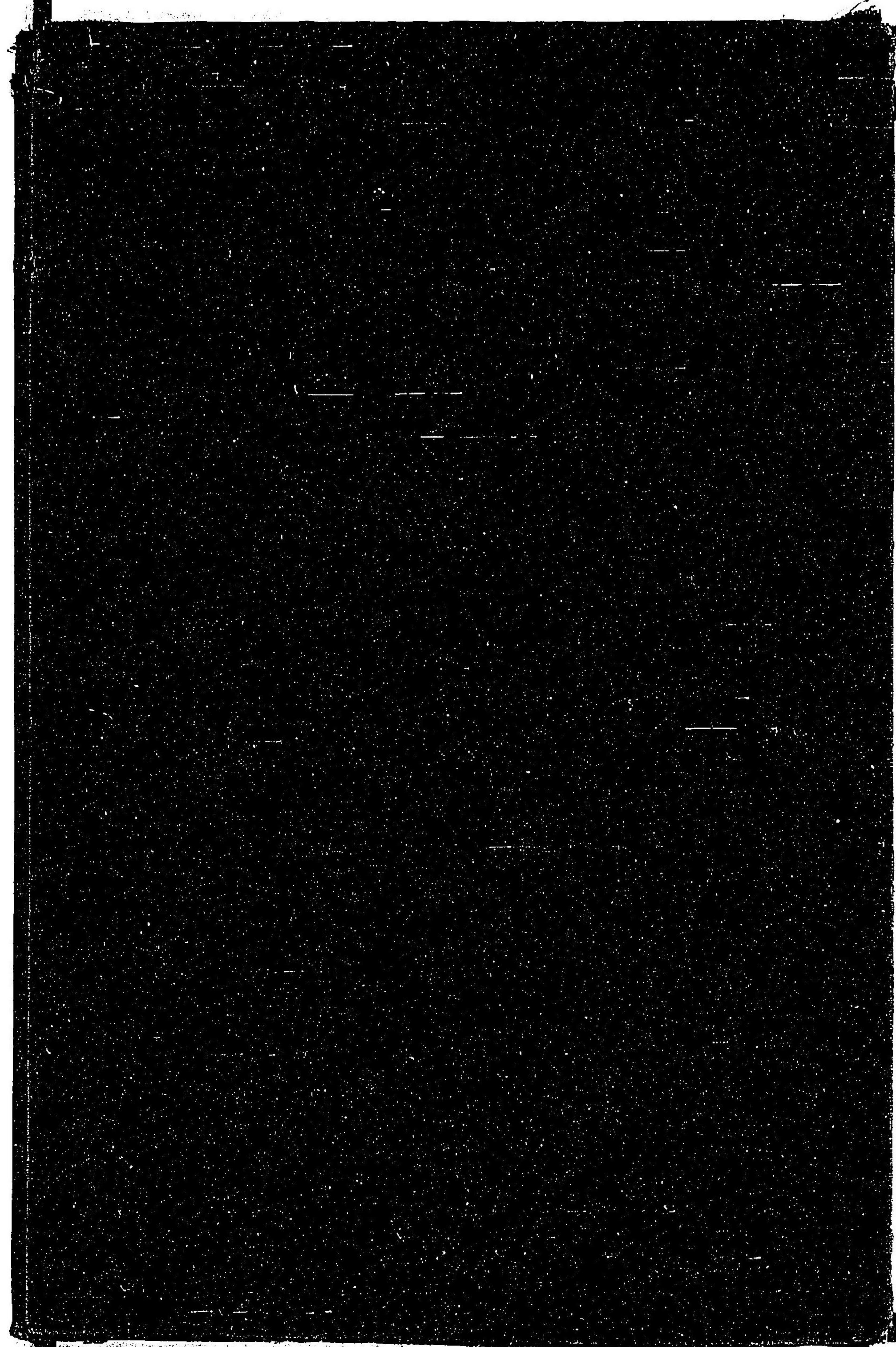
明治圖書出版株式會社

東京市神田區裏神保町

發行所

濟美館書店

87
142



87  
142

036680-000-1

87-142

刑事訴訟法原論

豊島 直通 / 著

M33

BBS-0101





